

機械器具(56) 採血又は輸血用器具  
一般医療機器 ルアーアダプタ JMDN コード：35075000

## 血液培養ボトル用分注器 セーフティホルダー

### 再使用禁止

#### 【禁忌・禁止】

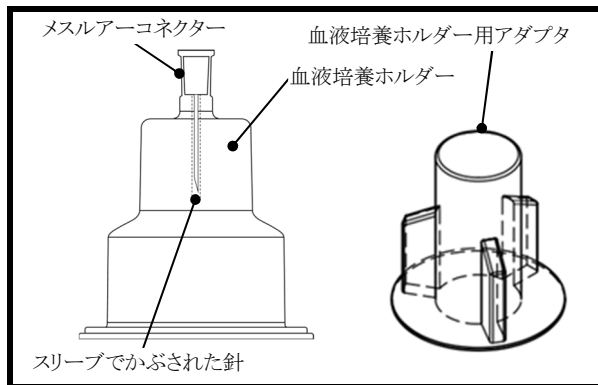
- 再使用禁止。

#### 【形状・構造及び原理等】

##### 1. 形状・構造

###### (1) 構造等

本品は注射筒から血液検体を直接真空採血管又は血液培養ボトルへ分注することを目的とする滅菌済みの単回使用器具である。



##### 2. 原材料等

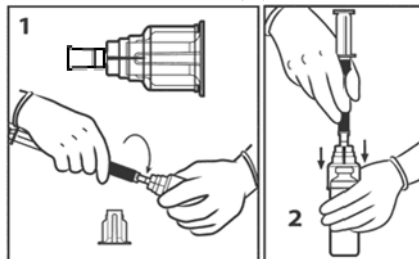
ポリプロピレン、ABS樹脂  
ラテックスフリー  
エチレンオキシドガス滅菌

#### 【使用目的又は効果】

複数の器具を組み合わせることで固定位置に保持するために、又は複数の器具を接続するために使用する単回使用器具をいう。注射筒と真空採血管や血液培養ボトル等に接続し分注等の為に使用する。

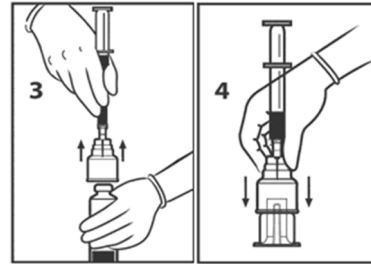
#### 【使用方法等】

- 無菌操作で本品を開封する。
- 個別の院内の手順に従って注射筒に検体を採取する。
- 針がある場合は注射筒から外し、個別の院内の手順に従って廃棄する。
- 血液検体入りの注射筒を本品のメスルアーコネクタに差し込み、ねじって図 1 に示す所定の位置に確実に取り付ける。



- 血液培養ボトルに血液を分注するには、6 から 9 及び 11 の手順に従う。真空採血管に血液を分注するには 10 及び 11 の手順に従う。
- 血液培養ボトルに血液を分注するには、血液培養ホルダー用アダプタ(図1)を取り外し、小径側を上にして、刺入部を上にした血液培養ボトルの横に置く。血液培養ホルダー用アダプタを捨てないこと。
- 図 2 のように本品を血液培養ボトルの首の上に置いて押し下げる。注射筒から血液培養ボトルに検体が流れ始めることを確認する。血液検体の分注中は、本品を血液培養ボトルに押しつけたままにする。

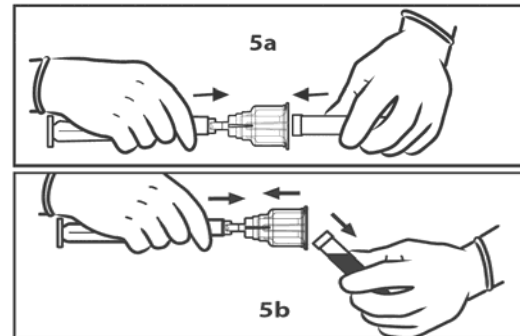
- 望ましい量の検体が血液培養ボトルに移動したら、図 3 のように本品を取り外す。
- すべての血液培養ボトルが満たされた後、片手のみを使って血液培養ホルダーの開口端を血液培養ホルダー用アダプタに押しつけ、血液培養ホルダー用アダプタに付け替える。図 4 を参照。



- 真空採血管に血液を分注するには、図5a 及び図 5b に示すように、血液培養ホルダー用アダプタの中央の穴を通して本品のカニューラにアクセスする。血液培養ホルダー用アダプタを取り外さないこと。

<注意>真空採血管の中央部に真っ直ぐ穿刺すること[中央部を外して穿刺した場合や斜めに穿刺すると、本品が破損したり、分注できないおそれがあるため]。

- 血液培養ホルダー用アダプタが取り外された場合は手順 9 に従う。図 4 を参照。



- 汚染された本品と注射筒は取り付けただま、個別の院内の方針に従って適切な鋭利品廃棄容器に廃棄する。

#### 【使用上の注意】

- その他の注意  
血液培養ホルダー内に針が付いているため、針刺しには気を付けること。

#### 【保管方法及び有効期間等】

- 保管方法  
多湿、直射日光及び水濡れを避けて保管すること。
- 有効期間  
有効期間は自己認証(当社データ)による。有効期間については外装表示参照。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：  
カーディナルヘルス株式会社  
カスタマーサポートセンター：0120-917-205